

平成29年度 新潟市立図書館指標別評価シート

シートNo.3

【全市立図書館・図書室】

区分	評価指標	H27実績	H28実績	H29実績	前年度比	図書館運営全体		
図書館運営	基本的サービス					自己評価	外部評価	
	資料購入費：決算数値(千円)	167,332	132,418	130,348	0.98	・個人の貸出点数が前年度より減少したが、要因は活字離れや平成30年1～2月の豪雪によるものと思われる。冬の貸出点数が、前年度比で2割程度減少なかった図書館もあった。 ・平成28年度までは個人の予約件数が増加していたが、初めて減少に転じた。活字離れが進んでいると思われる。 ※1 入館者数は、平成27年5月上旬から全館で記録できるようになった。平成27年度実績には、一部の図書館の4月分がカウントされていないため、参考値。 ※2 新津は入館者カウンター故障のため、11月27日～2月14日(約2か月半)の分が含まれない。新津の1か月の入館者数の平均は、約15,000人。	・書籍のふろくは、本体と共に渡さなければいけない決まりがあるのか？ないなら、もう少し柔軟に考えて、イベントの参加費に配つてはどうか。 ・シートNo.1～No.3のような評価シートは(できれば希望者には)、エクセルが何かで電子的にやりとりをさせていただきたい。その方が郵送料もかからず、手元で簡単にこれまでの記録を取っておけるので、評価も過去の評価と比較しながら行えて、作業が圧倒的に楽である。ご検討いただきたい。 ・11月28日付研究会の県立市立図書館の事例発表を聴講し、新潟ならではの特色を出す事で、増加につなげることが可能なのではと考える。 ・害はともかく、活字離れの問題は、難しいです。ですが、近隣の図書館に何かおもしろい本を探しに行く時、いつも同じ本があり何も借りずに帰る時があります。タイミングが悪いのでしょうか。でも、探している本や資料を聞くたびにすぐに対応して下さりとてもありがたいです。 ・更なる高齢化の進展により、高齢者の図書館離れが加速することも危惧されるので、ハンディキャップサービスの拡大などにより対応したいと思えます。 ・活字離れは現代社会現象でもあるが、地域の図書館・図書室であるからこそ、地域に密着した図書館運営が行えるのではないだろうか。大変なことは理解するが納得したい。 ・活字離れで減少し懸念した事ばかりが原因でなく、根拠に何か原因があると思います。全国では伸びている図書館もあります。イベントの取組等々、魅力的な図書館を目指してほしい。 ・活字離れをどう防ぐのか、乗り越えるのか、そこに現状の分析、効果的に運営されている図書館の工夫など学び合う必要あり。 ・図書館の魅力(本(活字)の魅力のPR等、より一層の周知を期待する。 ・個人として、子どもが小さい時はよく利用していたが、成長につれ利用する事が少なくなっていた。こちらの取り組みのように、様々な種類の本を用意していただく、いつでも利用しやすい環境であれば、利用者は増えていくと思います。(館員にのみ)	
	資料購入費：決算数値(千円)	167,332	132,418	130,348	0.98			
	蔵書点数(点)：図書・AV	1,903,315	1,912,358	1,916,149	1.00			
	個人の貸出点数(点)：雑誌・AV含む	4,660,496	4,517,184	4,323,637	0.96			
	個人の登録者数(人)	149,051	147,184	147,253	1.00			
	(内新規登録者数)	17,549	16,848	16,037	0.95			
入館者数(人) ※地区図書室除く	2,694,048	2,628,828	2,477,238	0.94				

区分	評価指標	H27実績	H28実績	H29目標	H29実績	自己評価	H30目標	関連指標	評価(次年度への展開)		
施策・事業(オンライン各館)	ネットワークを生かした「課題解決型図書館」					自己評価	外部評価				
	レファレンス件数(件) ※資料の所蔵調査を含む	83,157	94,580	94,500	98,077	3	99,000	教育ビジョン	・レファレンス件数は、前年度より3,497件の増となった。 ・平成27年度にスマホページを開始してから個人の予約件数が増加していたが、平成29年度に初めて減少に転じた。	3 大変評価する。62% 2 ある程度評価する。30% 1 評価できない。8%	
	個人予約件数(件)	735,883	755,581	760,000	748,184	1	731,000	教育ビジョン			
	ホームページアクセス件数(件)	1,321,199	1,157,724	1,200,000	1,138,570	1	1,200,000				
	特色ある地域づくりに寄与する「分権型図書館」					自己評価	外部評価				
	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	111,933	115,446	120,000	119,284	1	120,000		・私は財政難の時こそきちんと蔵書構築(だけ)はやっていくことが重要と考えている。目標値が高かったの下まわることになったのかもしれないが、毎年堅実な蔵書構築が行われればよいと思う。 ・受け入れと貸出とのバランスを考えた場合、果たしてニーズに合っているのか疑問に思った。 ・これからは、開港150周年関係や新しく開館指定された新津油田臨海部の資料を集めて、市民にも市の誇りとして市民の手に届かせるべく見てもらえるようになってほしいです。 ・蔵書増を心がけてほしい。 ・貸出冊数の目標値になるためのアイデアをこれからも期待したい。 ・すべて目標値を下回った1になっている。蔵書は増えているがうまく貸出までアプローチできていない現状がある。 ・蔵書数増は評価できる。	3 大変評価する。15% 2 ある程度評価する。54% 1 評価できない。31%	
	郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	39,105	38,515	40,000	36,113	1	40,000				
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進以外の派遣	25	27	30	25	1	30				
	公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進以外の事業	33	39	40	32	1	40				
	子どもの読書活動を推進する「学・社・民融合型図書館」					自己評価	外部評価				
	児童書の貸出冊数(冊) (12歳以下子ども一人当たり)	13.1	13.1	13.2	13.0	1	13.1	教育ビジョン	・私はこれからの時代は、より団体貸出を重視していくべきであると思う。なぜなら、学校には(自分で借りてくることはできない)本当に図書館資料を必要とする子どもたちがいるからである。団体貸出は子どもに本を届けられる非常に有効な手段なので、ぜひ死守していただきたい。 ・小・中・高・特別支援学校の利用が増えている事は、大きく評価する所だと思います。オレンジBOXの取り組みや貸出期間が1ヶ月間のものでいいです。もっと広く知ってもらい活用してもらいたいです。それが児童書の貸し出し増加に繋がれば、と思います。 ・子どもの読書環境の充実につなげるためにも今後の業務に期待したい。 ・小学校読み聞かせボランティアへの講師派遣を定期的に行ってほしい。ブックスタートが定着し効果があるので継続して行ってほしい。特別支援学校の利用が増えたことは大変良かったと思います。 ・団体貸出の増加は評価すべきである。今後も、継続して欲しい。職場体験は、キャリア教育で学生が直に社会に触れる機会である。受け入れを増やして下さることを願う。	3 大変評価する。46% 2 ある程度評価する。46% 1 評価できない。8%	
	小・中・高等学校への団体貸出冊数(冊)	62,285	62,825	63,000	67,766	3	68,000				
	子ども・親子対象事業の参加者数(延人数)	20,292	20,753	20,000	20,842	3	20,000				
	職場体験受入人数(人)	182	200	200	168	1	200				
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進に関わる派遣	208	195	200	185	1	210				
公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進に関わる事業	8	6	10	8	1	10					
市民参画と協働を推進する「パートナーシップ型図書館」 ※ボランティア活動には、東プラ・荻川・金津・小須戸・西内野の各地区図書館を含む。					自己評価	外部評価					
図書館ボランティア活動者数(延人数)	6,462	5,828	6,500	5,693	1	6,500		・中央図書館以外の場所でもボランティア活動者数が減少したのか(中には増加しているところもあるのだろうか)原因をしっかりと調べてほしい。 ・読み聞かせボランティアなど色々な理由で続けられなくなる人が出て来る事も多いと思いますが、それでもこれだけの人数が集まっているのは、図書館がサポートしているからだと思います。 ・ボランティア活動者数の減少の要因を解明し増加とすることに期待したい。 ・ボランティア養成講座を定期的に行い積極的に図書館で活躍してもらいたい。 ・継続を期待する。各地域の市民参画につなげるきっかけづくりを期待する。	3 大変評価する。23% 2 ある程度評価する。77% 1 評価できない。0%		
ボランティア団体交流会参加者数(延人数)	63	60	70	73	3	75					
利用者の意見を把握する機会の設定(回) (全館協議会15回、県議3回、新津1回、西川1回、黒埼3回)	19	19	18	19	3	19					
共催・協働事業の実施件数(件)	170	189	190	171	1	190					
効率的・効果的な運営(職員)					自己評価	外部評価					
研修参加職員数(延人数)	765	1,184	770	1,065	3	1,070		・図書館行政をめぐる状況が変化しつつあるので、司書・市役所職員の方々には研修をしっかりと受けていただきたい。 ・常に新しい情報が出るし、求められる図書館なので、研修会は大変だと思います。 ・積極的な参加をお願いします。 ・継続を期待する。	3 大変評価する。77% 2 ある程度評価する。23% 1 評価できない。0%		

※「自己評価」欄の数値について・・・ 3:目標値を上回って達成 2:目標どおり達成 1:目標値を下回った

※「自己評価」欄の数値について・・・ 3:目標値を上回って達成 2:目標どおり達成 1:目標値を下回った